

第 20 回 協議会資料

1. 報告事項	
1) 委員の交代・退会	1
2) A区間の協働事業活動報告	2
3) A区間・B区間の調査報告	3
2. 協議（確認）事項	
1) 第19回協議会の結果	7
2) 途中参加委員について（審議）	8
3) 途中参加委員に関する申し合わせ事項（原案）	8
3. 自然再生協議会全体スケジュール	9

平成 22 年 2 月 13 日

霞ヶ浦田村・沖宿・戸崎地区自然再生協議会

1. 報告事項

1) 委員の交代・退会

[交代]

① 専門家 茨城県内水面水産試験場長 (鈴木 正伸) → (高濱 芳明)

② 公募委員 団体 上大津東小学校PTA会長 (木下 謹子) → (島田 英俊)

[退会]

① 公募委員 個人 (鈴木 康夫)

② 公募委員 個人 (浜田 忠良)

③ 公募委員 個人 (村本 弘章)

④ 公募委員 個人 (安田 麻耶子)

以上

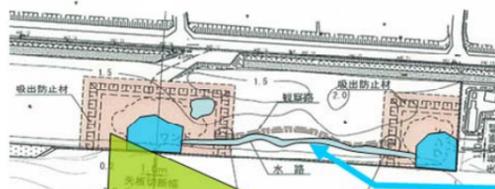
2) A区間の協働事業活動報告 (平成21年度活動状況)

①平成21年8月2日(日)には、『ワンド周辺と観察路の除草』と『区域内のゴミ拾い』活動と『メンバー内での自然観察会』を実施。

A区間の協働事業 平成21年8月2日作業実施状況

【活動内容】 ワンド周辺及び水路脇観察路の除草と区域内のゴミ拾いを行いました。

作業前には弁天宮にて安全祈願を行い作業を開始しました。



弁天宮

水路部除草作業状況

ワンド周辺除草作業状況

刈草の集草作業状況

A区間の協働事業 自然観察会実施状況

茨城県霞ヶ浦環境科学センターの魚類及び植物の先生のご協力のもと、観察会を実施しました。

ワンド内魚類観察

スズエビ

ヌマチチブ

シラウオ

ワカサギ

ブルーギルの稚魚

区域内植物観察

『ミコガヤ』がみられました

②平成21年10月11日(日)には、『ワンド周辺と観察路の除草』と『区域内のゴミ拾い』活動を実施。

③平成21年10月18日(日)には、『ワンド周辺でヨシ植え』と『お魚観察』を実施。

④平成22年1月23日(土)には、『ワンド周辺で池造成』を実施。

A区間の協働事業 平成21年10月11日(日)作業実施状況

【活動内容】 ワンド周辺及び水路脇観察路の除草と区域内のゴミ拾いを行いました。

当日は、ボランティアとして17名参加し、除草機械等は霞ヶ浦環境科学センターからご協力頂きました。

10月18日予定

環境教育の一環として、子供達によるヨシ植を予定しています。

ワンド周辺除草作業状況

水路部除草作業状況

A区間の協働事業 平成21年10月18日(日)活動実施状況

【活動内容】 ワンド周辺でヨシ植えやお魚の観察会を行いました。

当日は、61名参加し、ヨシ植えに使用するスコップなどは霞ヶ浦環境科学センターからご協力頂きました。

①『ヨシのお話』と『自然再生の取り組みについてのお話』

②ヨシ植栽の様子

③お魚観察の様子

お魚観察でみられた魚たち

ワカサギ

ブルーギル

ミコガヤ

メダカ

A区間の協働事業 平成22年1月23日(土)活動実施状況

【活動内容】 ワンド周辺に池を造りました。

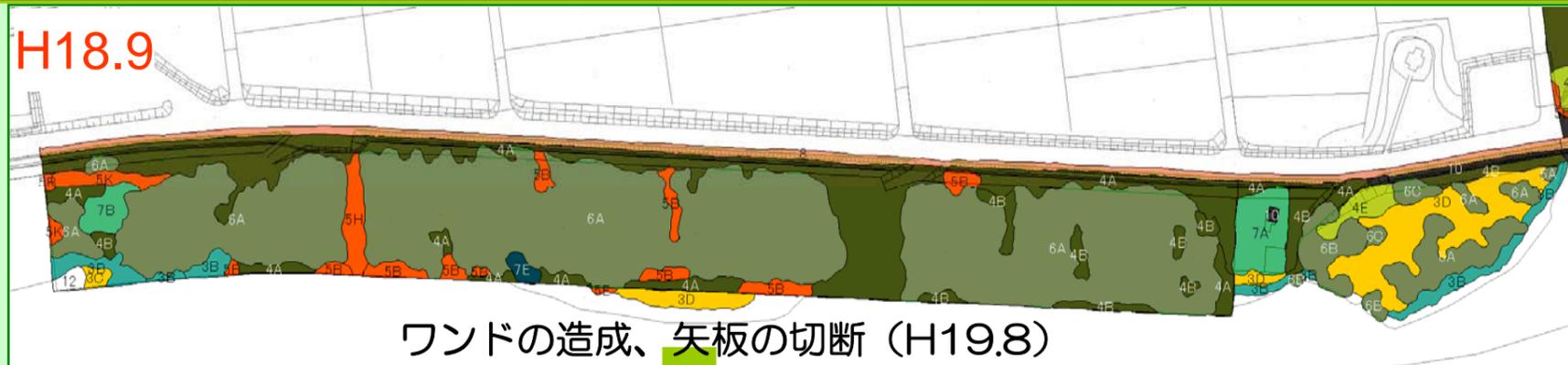
浮葉植物などが生育・繁殖できるような池をスコップやパワーショベルで造りました。

当日は、15名参加し、池造りに使用するスコップなどは霞ヶ浦環境科学センターからご協力頂きました。

3) A区間・B区間の調査報告

① A区間植生の変化

H18.9



ワンドの造成、矢板の切断 (H19.8)

H19.10



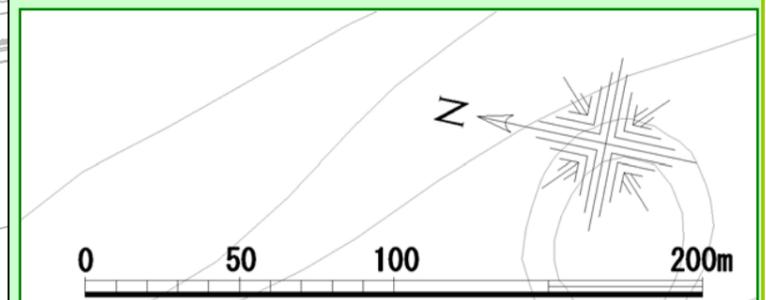
H20.11



H21.11



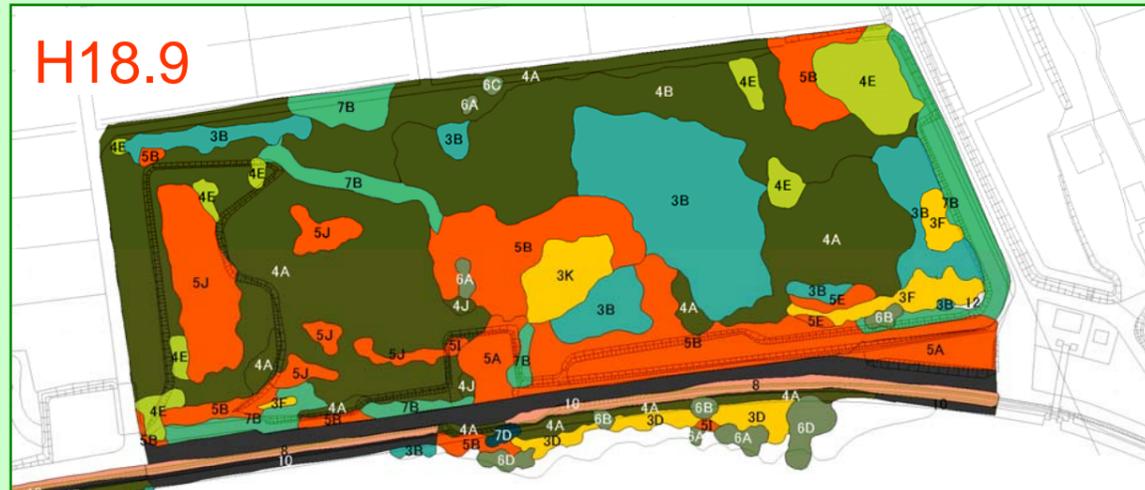
群落コード	群落名
1A	マツモ群落
3B	ヨシ群落
3B-1	ヨシ群落(先駆的)
3C	ヒメガマ群落
3D	カサスゲヨシ群落
3F	ウキヤガラ群落
3K	クサヨシ群落
3M	イ群落
4A	セイタカアワダチソウ群落
4B	ヨシセイタカアワダチソウ群落
4C	シロバナサクラタデ群落
4E	オギ群落
4H	チガヤ群落
4I	ヨモギモドハギ群落
4J	キクイモ群落
5A	メシバエノコログサ群落
5B	カナムグラ群落
5D	イヌビエ-オオクサキビ群落
5D-3	イヌビエ-オオクサキビ群落 (アキノエノコログサ類混生タイプ)
5E	サデクサ群落
5H	オオイヌタデ群落
5I	ツルマメ群落
5J	オオアレチノギク-ヒメムカシヨモギ群落
5K	アメリカセンダングサ群落
5P	ヤナギタデ群落
5Q	ヌカキビ群落
5R	イシミカワ群落
5S	草刈跡群落
6A	タチヤナギ群集(低木林)
6B	ジャヤナギ-アカメヤナギ群集
6C	ジャヤナギ-アカメヤナギ群集(低木林)
6D	カワヤナギ群落
7A	アズマネザサ群落
7B	クズ群落
7D	落葉広葉樹群落
7E	ヤマグワ群落(低木林)
7F	オニグルミ群落(低木林)
8	人工草地
9	人工裸地
10	構造物
11	自然裸地
12	開放水面



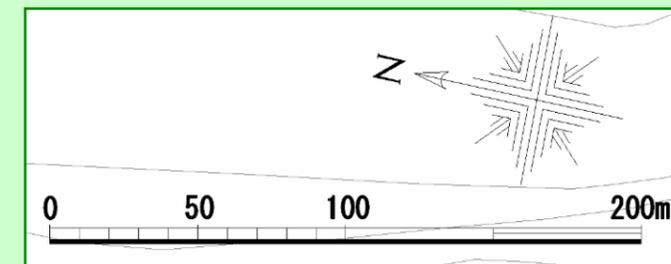
② A区間垂直写真



③ B区間 植生の変化



群落コード	群落名
1A	マツモ群落
3B	ヨシ群落
3B-1	ヨシ群落(先駆的)
3C	ヒメガマ群落
3D	カサスゲーヨシ群落
3F	ウキヤガラ群落
3K	クサヨシ群落
3M	イ群落
4A	セイタカアワダチソウ群落
4B	ヨシ-セイタカアワダチソウ群落
4C	シロバナサクラタデ群落
4E	オギ群落
4H	チガヤ群落
4I	ヨモギ-メドハギ群落
4J	キクイモ群落
5A	メヒシパーエノコログサ群落
5B	カナムグラ群落
5D	イヌビエ-オオクサキビ群落
5D-3	イヌビエ-オオクサキビ群落 (アキノエノコログサ類混生タイプ)
5E	サデクサ群落
5H	オオイヌタデ群落
5I	ツルマメ群落
5J	オオアレチノギク-ヒメムカシヨモギ群落
5K	アメリカセンダングサ群落
5P	ヤナギタデ群落
5Q	ヌカキビ群落
5R	イシミカワ群落
5S	草刈跡群落
6A	タチヤナギ群集(低木林)
6B	ジャヤナギ-アカメヤナギ群集
6C	ジャヤナギ-アカメヤナギ群集(低木林)
6D	カワヤナギ群落
7A	アズマネザサ群落
7B	クズ群落
7D	落葉広葉樹群落
7E	ヤマグワ群落(低木林)
7F	オニグルミ群落(低木林)
8	人工草地
9	人工裸地
10	構造物
11	自然裸地
12	開放水面

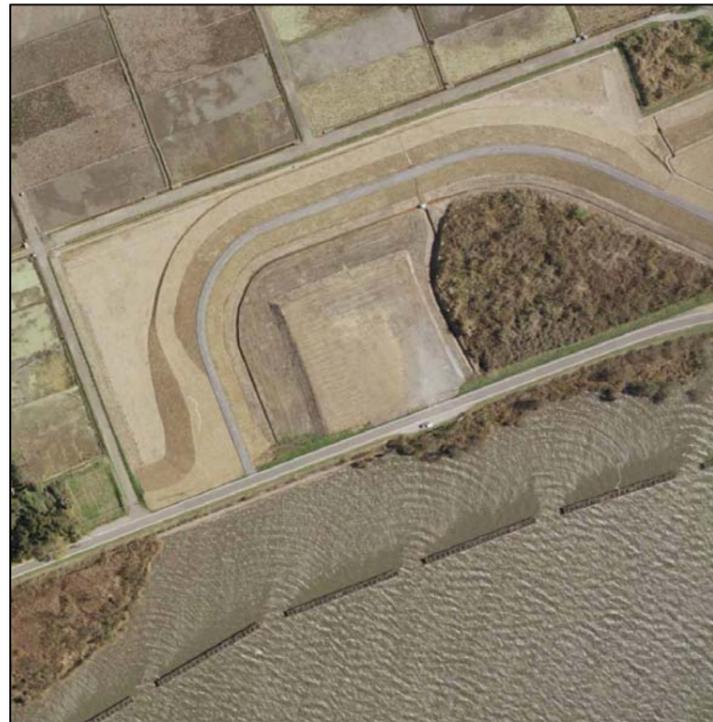


④ B区間垂直写真

平成19年11月12日撮影



平成20年10月27日撮影



平成21年11月6日撮影



2. 協議（確認）事項

1) 第19回協議会の結果

(1) 日時：平成21年2月28日（土） 13:30~15:30

(2) 会場：霞ヶ浦環境科学センター 多目的ホール

(3) 議事

(1) 開会

(2) 第18回協議会の結果<議事要旨と議事録：資料-1>

(3) 途中参加委員について

(4) 協議（確認）事項

1) 協議会設置要綱第7条の一部改正について

(5) 報告事項

1) B区間の事業内容及び調査報告

2) A区間の活動報告及び調査報告

3) A区間の安全対策報告

(6) 自然再生協議会全体スケジュール

(7) 全国の自然再生事業の状況

(8) 閉会

(4) 議事要旨：

1. 第18回協議会の結果（確認事項）

・第18回協議会の議事要旨（案）と議事録（案）については、確認を行了承された。

2. 協議会設置要綱の改正について（協議事項）

・委員の任期については、平成22年3月31日までとすることで承認された。

・設置要綱の改正日は、平成20年4月1日から施行とする。

3. 途中参加委員について（審議）

・昨年5月に途中参加希望の申し出があった株式会社関東つくば銀行の審議は、協議会出席委員からの合意が得られた。

4. 協議会設置要綱第7条の一部改正について

・協議会設置要綱第7条の一部改正（案）については、協議会設置要綱第18条に定める委員の過半数の出席が得られないことから、事務局内で再度、検討することとした。

5. B区間の事業内容及び調査報告（報告事項）

・B区間築堤工事、現地見学会の開催、環境モニタリングの実施報告を行った。

・今後は3年間の養生期間が必要となり、平成23年11月1日以降に開削等の着手が可能である。

・3年間の養生期間中は、実施計画に定めたモニタリングを実施するが、協議会においてより良い手段を検討することも可能である。

・裸地部には、セイタカアワダチソウが繁茂することが予想されることから、除草などの管理を継続していくことを考えている。

・新堤防の天端を散策路として開放できるかどうかについては、堤防の芝生の生育状況具合も観察し、散策路として開放できるか検討する。

6. A区間の事業活動及び調査報告（報告事項）

・昨年5月に実施したなぎさ整備状況、広報看板の設置作業の報告を行った。また、12月に行った、草刈り・ごみ清掃作業の報告をおこなった。

・環境モニタリングの実施報告を行った。産卵場調査は、3月にモニタリングを行う予定である。

・昨年11月の調査では、池の中及びワンド内にミズアオイが見られた。

7. A区間の安全対策報告（報告事項）

・鋼矢板の倒壊が予想される個所に看板を設置。また、侵入による危険防止のため、誘導ロープを設置したと報告を行った。

・現状の整備段階では、利用者の安全確保が適切でないため、協働作業による散策路等の整備が進み、安全確保の確認がとれれば範囲の変更はあり得る。

8. 自然再生協議会全体スケジュール

・平成21年度以降は協議会の開催を年1回程度と考えているが、議題の有無によっては開催することは可能である。

9. 全国の自然再生事業の状況

・自然再生協議会情報連絡会議（東日本）の報告を行った。

(5) 参加者

1) 協議会委員

所属等		参加人数	
専門家		4名	
公募委員	団体	3名	9名
	個人	6名	
地方公共団体	茨城県	5名	6名
	土浦市	名	
	かすみがうら市	1名	
関係行政機関	国土交通省 霞ヶ浦河川事務所	1名	2名
	独立行政法人水資源機構 利根川下流総合管理所	1名	
		21名	

2) その他

所属等		参加人数
傍聴者	一般、マスコミ	4名

2) 途中参加委員について（審議）

- ・ 団体希望：霞ヶ浦グラウンドワーク（外塚 潔）

3) 途中参加委員に関する申し合わせ事項（原案）

- ・ 途中参加希望者の申し出から協議会における合意までの取り扱いについて、原案を以下に示す。

【申し合わせ事項】

1. 設置要綱第7条の途中参加委員については、第12条に定める協議会における合意が得られる迄の期間は、会長及び協議会運営事務局の確認を経て事業活動に参加することができるものとする。

参考【設置要綱第7条の原文】

（途中参加委員）

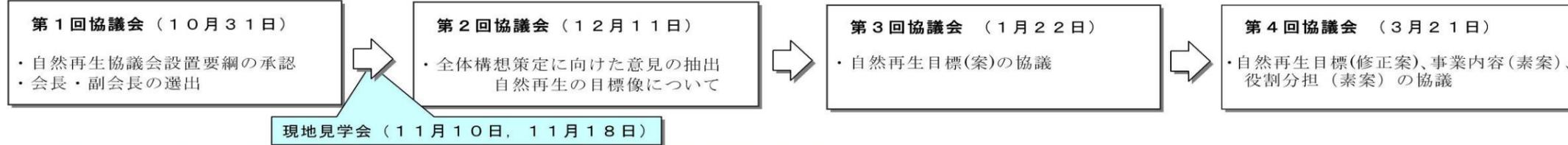
第7条 協議会には、前条による委員のほか、途中参加委員を加えることができる。途中参加委員の任期は第6条に定める委員の残任期間に同じとする。

2 協議会の委員から推薦された者は、第12条に定める協議会の会議における合意を経て途中参加委員となることができる。

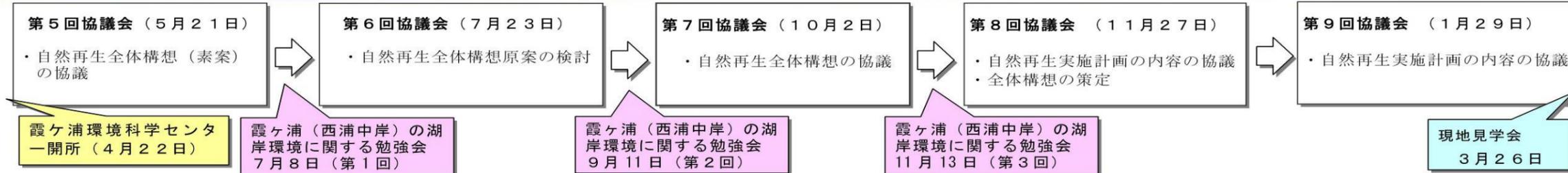
3 その他途中参加委員となることを希望する者は、第15条に定める運営事務局に対しその意思表示を行い、第12条に定める協議会の会議における合意を経て、途中参加委員となることができる。

3. 自然再生協議会全体スケジュール

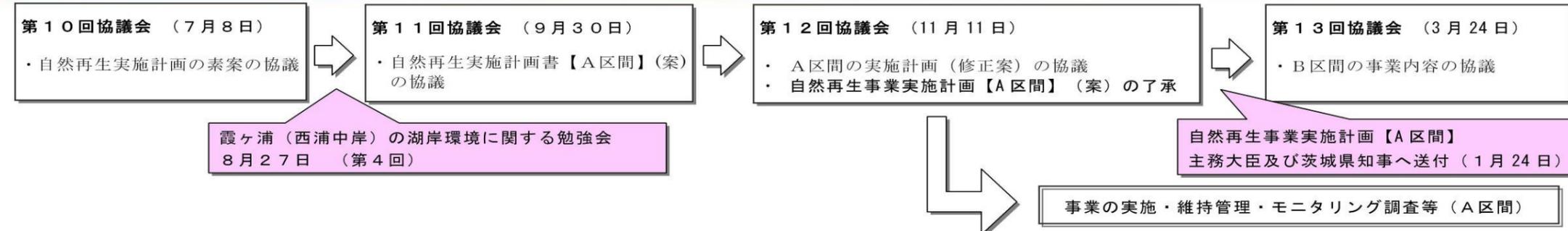
平成16年度



平成17年度



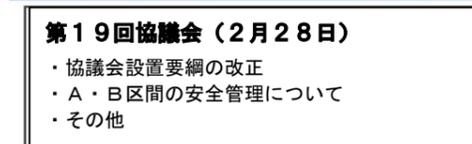
平成18年度



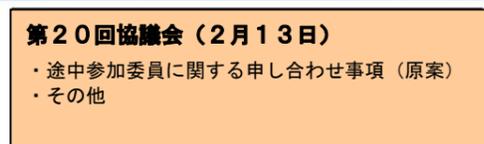
平成19年度



平成20年度



平成21年度

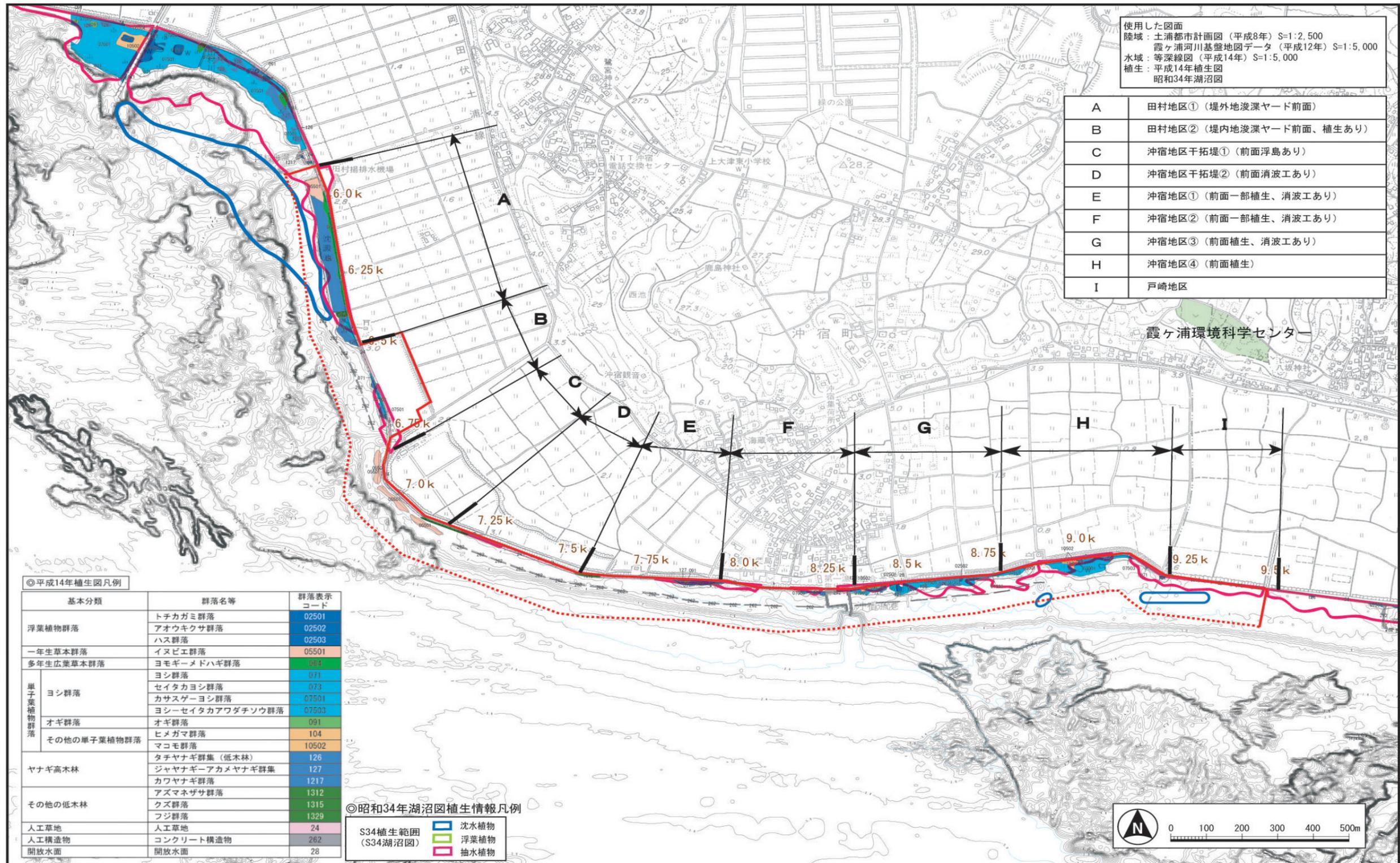


平成22年度以降



A区間の完了 水路掘削作業・草刈作業・モニタリング等の継続実施

区間割り図



対象区域の区間区分